

数学科 i コンピテンシーループリック

自分に最もよくあてはまるものを、1～4のうちから1つ選んでください。

i コンピテンシー		1 不十分である	2 やや不十分である	3 おおむね身につけている	4 十分身につけている
I 情報分析活用能力	I-1 課題解決するために、どのような情報が必要であるか考えることができる。	与えられた推論の方法に基づいて、結論を出すことはできるが、自分で推論の方法を考えることができない。	状況に応じて推論の方法を選択し、それに基づいて結論を出すことはできる。	状況に応じて推論の方法を正しく選択することができる。結論に至った経緯を論理的に説明できる。	状況に応じて推論の方法を正しく選択することができる。結論に至った経緯を論理的に説明でき、結果の妥当性を確かめることができる。
II 論理的思考力	II-1 物事の全体の構成をとらえ、結論を判断することができる。	具体的な場面の中で数学的な要素を見つけることができない。	具体的な場면을数学的に正しくとらえることはできるが、数学的に正しいモデルを作ることができない。	具体的な場면을正しくとらえ、数学的に正しいモデルを作ることができる。	具体的な場면을正しくとらえ、数学的に正しいモデルを一般化された形で作ることができる。
III コミュニケーション力	III-4 伝えたい内容・相手に応じて正確に効果的に伝えることができる。	自分の考えを表現するとき、数式や文章など数学の言葉や表記を用いて表現することができない。	自分の考えを表現するとき、数式や文章など数学の言葉や表記を用いて表現ことができ、相手に何が伝わったかを確認できる。	自分の考えを表現するとき、相手の知識や理解度を把握しようとしており、数学の言葉や表記を用いて相手が理解できる説明をすることができる。	相手の知識や理解度を把握したうえで、キーワードを用いた簡潔明瞭で、論理的に正しい説明をすることができる。
IV 自律的に行動する力	IV-2 目標を達成するために、計画を立てて行動しようとする。	学習の振り返りが苦手で、家庭での学習は課題しかしていない。	学習の振り返りはできているが、自分の学びを深めるために学習計画を立てて行動することができていない。	学習の振り返りができており、自分の学びを深めるために学習計画を立てて行動することができている。	学習の振り返りを基に、自分の学びを深めるために学習計画を立て、うまくいかない場合はその計画を修正しながら行動することができる。
	IV-4 自分で判断し、状況に応じて臨機応変に対応しようとする。	数学の知識や経験に基づいて数学的判断することが難しい。	数学の知識や経験に基づいて数学的判断をすることはできるが、その判断に沿って対応することが難しい。	数学の知識や経験に基づいて数学的判断をすることができる。	数学の知識や経験に基づいて数学的判断をことができ、状況に応じて臨機応変に対応することができる。
V 垣根を越える力	NEW 問題解決に向けて既習事項、他分野、先行研究との繋がりを考え、数学的に探究することができる。	既習事項、他分野、先行研究との繋がりを考えることができない。	既習事項、他分野、先行研究との繋がりを考えることはできるが、自身の持っている知識や数学的な見方・考え方を活用することができない。	既習事項、他分野、先行研究との繋がりを考えることができ、自身の持っている知識や数学的な見方・考え方を活用することができる。	既習事項、他分野、先行研究との繋がりを考えることができ、自身の持っている知識や数学的な見方・考え方を活用し数学的な見方・考え方を広げる、または深めることができる。
	V-5 色々な考えを互いに共有し、よりよい考えに発展させたり、アイデアを誕生させようとする。	別解や他の考え方ができるか考えようと思わない。	自分以外の人の別解や色々な考えを聞くことができ、それを理解することができる。	自分以外の人の別解や色々な考えを理解することができ、それを整理し、自分の考えに活かそうとすることができる。	自分以外の人の色々な考えを共有し、自分の考えを発展させたり、他分野との融合を図る等、新たな解決法を提案することができる。